

貯水池に流れ込む水の炭化水素汚染のモニタリング

用途

小型の貯水池につながる水路に農地や食品工場などから流れ込む汚染物をモニタリング

ユーザー

水道会社(サウスウェスト・イングランド)

解決を求められた問題

飲料水処理工程に水を供給する貯水池で続いていた小さな汚染が拡大して2016年には大きな問題となってきた。

採用された製品

MS1200 - 標準タイプで4-20 mA 出力、濁り非常に高い場合に備えた特性タンクも装備

MULTISENSORが採用された理由

ユーザーは大雨の際に水源に発生する高い濁度にも影響されない機材を望んでいて、さらにMultisensorがサンプルに含まれている流出物がサンプル自体を汚染しないように取り除く際にユーザーをサポートするサービスを提供。

設置状況

装置は現場にある小さな建物に設置され、水はポンプで供給されて15分おきに炭化水素とVOCの分析が行われた。そのレベルが増加するとMS1200システムは警報リレーを使って水門を閉じ、汚染が無くなるまで水の流れを変えて貯水池に影響を与えないようにする。

設置されたMS1200は大きな事故により発生した深刻な汚染が生じたときにも貯水池を汚染から守った。



現場の建物内に設置されたMS1200
この機器は汚染が発生した際に水門を閉じて水が貯水池に向かわないように流れの方向を変えることができる